

令和元年度 養護教諭研究部会 研究計画

研究テーマ

「養護教諭の専門的力量的向上を目指す」

～ 主体的に健康課題の解決に取り組む子供の育成 ～

1 研究の目的

子供たちが抱える現代的な健康課題は多様化・複雑化している。このような課題に対応するために、チーム学校の中で養護教諭には専門性を発揮し健康教育を総合的に推進することが求められている。そのため本部会の研究を通して、自他の健康課題に気づき、主体的に課題解決に向けて取り組む子供を育てることを目的とする。

2 研究の方向

本部会ではこれまで長年にわたり「養護教諭の専門性の向上」を目指して追究してきた。また、前サイクルの3年間では、子供たちに自己管理する力、健康課題を解決する力、健康安全の危機に適切に対応する力をつけるために必要な養護教諭の専門性として、他職種と連携・協働しながらコーディネートしていくことの大切さを確認できた。一方、研究大会での研究協議会のもち方や3年間の研究の在り方については課題があると考えられた。

そこで今後はこれまで高めた養護教諭の専門性を各チーム学校の中で発揮して、子供たちに予測できない社会変化の中でも、現代的な健康課題に主体的に向き合い、地域社会や他者と関わり合う中で自ら課題解決していく力を育てていきたい。そのために今年度は、静岡大学 教授 鎌塚優子氏の講演を拝聴し、チーム学校における有効な養護教諭の実践の在り方をより追究する。そして子供たちが健康に生き抜くために必要な資質や能力を身につけ、豊かな心や健やかな体を育てていくことを目指す。令和2年度の研究大会に向かっては、研究過程より同一課題の発表郡市が互いの研究への理解を深めたり、研究協議会の在り方についても検討したりする中で、発表郡市が目指す子供の姿の具現に向けて取り組んでいきたい。また、講演会や代議員会での郡市研究交流会を通して学んだことを、郡市養護教諭部会でさらに学び続けることで自校の実践に生かし、子供の心身の健康の具現につなぎたい。

部会運営に関わっては、養護教諭に求められる役割は益々大きなものである中、養護教諭の働き方改革も重要な課題である。また、子供の心身の健康の具現に向けては養護教諭一人一人が自らの役割にやりがいと向上心をもって良いコンディションで、子供に向き合えることが大切である。そのために、本部会を通して積極的に学び合える活動を工夫したり、運営においても規約第7章に定める代議員会等機関の開催方法を見直したり、ホームページを有効活用したり等の効率化を工夫したい。次の研究サイクルの分科会分担（研究発表）は、4年前の講演会開催年度に協議することとなっていることを受けて今年度、令和5年度の研究発表について協議していく。

3 今年度の研究について

(1) 岐阜県養護教諭研修会の開催 [講演会]

日時：令和元年11月1日（金）13：00～16：00

場所：下呂市交流会館 アクティブ 泉ホール

(2) 郡市養護教諭研究部会の充実

- ・郡市研究交流会 (他郡市の研究からの学び合い:代議員会)
- ・郡市研究報告をHPにて紹介 (他郡市の研究からの学び)
- ・「ようご」発行 (講演会まとめからの学び)

(3) 来年度以降の研究構想

- ・令和2年度研究大会要項の作成
- ・令和5年度研究大会発表に向けての協議